

主な経営内容 ● 水稻 34.4ヘクタール
大豆 20.0ヘクタール
枝豆 0.6ヘクタール

作業受託 25.0ヘクタール
WCS 5.8ヘクタール

こまちの農業記

農事組合法人



(農)雄勝グリーンサービスでは、それぞれが責任とやりがいを感じて農業を行っています

また、近年増加する生産調整面積により、転作を委ねる農家にも臨機応変に対応し、大豆栽培の規模を拡大

現在、30、40代の若手従業員4人が、主となって農作業に従事していますが、一人は、「農地を預けてくれた地権者に感謝し、預かった農地は自分の田んぼと思いつながら丁寧に管理する事」と日頃か



収穫してきた枝豆の選別作業の様子

(農)雄勝グリーンサービス
今月号の農業記では、湯沢市小野地区の農事組合法人雄勝グリーンサービスの代表理事 事今一さんに、お話を伺って来ました。

積の増加、米価の引き下げなど大きく変貌しており、「この激変する農業情勢に対応しながら地域農業を維持し、更には発展させて行きたい」と昭和62年9月に設立しました。その後、現在に至るまで、委託者のみならず消費者にも信頼を得る農業を実践し、地域農業の担い手として活躍しています。

消費者ニーズに応えた運営

更には、雄勝酪農組合との連携による稲発酵粗飼料(WCS)や、秋田県枝豆日本一事業の一役として枝豆栽培にも取り組み、地域農家の負託に応えながら経営の盤石化を図っています。

組織作りを強化し運営に反映する

(農)雄勝グリーンサービスでは設立当時から、「作る喜びを感じ、責任を持って確実な作業を行なう」をスローガンに組織作りにも力を入れています。

今後も地域農業を牽引する

(農)雄勝グリーンサービスでは、更に機動力ある組織を目指すために、株式会社化へ準備を進めています。「今後も、安心して任せてもらえる組織として農業を展開して行きたい」と抜群のチームワークを駆使し、地域農業を力強く牽引して行きます。



(農)雄勝グリーンサービスについて語っていただいた代表理事の今一さん

～組織力を高め地域農業を牽引する～